

令和6年 第8回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和6年 第8回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年8月20日(火) 13:40~16:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

教育局長

(企画総務課) 河野課長、比江島補佐、佐藤主幹、中村主事

(学校施設課) 齋藤課長

(学校教育課) 小川課長

(教育情報研修センター) 栗原所長、黒田次長

(生涯学習課) 坂本課長

(保健給食課) 弓削課長

(文化財課) 町田課長

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第35号	令和5年度一般会計歳入歳出決算について	教育局長 各課長
議案第36号	令和6年度一般会計補正予算案について	教育局長
議案第37号	宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について	企画総務課長
議案第38号	令和6年度宮崎市立ひなた中学校10月入学者の入学式の期日について	学校教育課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第20号	専決処分の報告について	教育情報研修センター所長
報告第21号	公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について	生涯学習課長
報告第22号	8月8日に発生した日向灘を震源とする地震の被害状況について	教育局長

黒木教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから、第8回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はいません。</p> <p>はじめに、訃報のお知らせです。平成27年10月1日から令和5年9月30日までの8年、2期にわたり、本市の教育委員を務められた畠山 利枝元教育委員におかれましては、病气療養中のところ、令和6年8月10日に逝去されました。哀悼の意を表し、お知らせします。</p> <p>それでは、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私黒木と、片山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをご覧ください。</p> <p>「(1) 教育長報告」ですが、こちらに記載のとおりです。このうち、8月7日に行われた「令和6年度 宮崎県市町村教育長連絡協議会 研修会」について報告します。</p> <p>資料は2ページです。県内全ての市町村の教育長が集まり、第1部会から第3部会に分かれて、各市町村の実態や課題を出し合い、最後に宮崎県教育委員会の事務局職員から指導助言を受けます。</p> <p>宮崎市は、第1部会「働き方改革と教員不足対応について」に参加しました。教員不足については、どの市町村においても大きな課題ですが、具体的な解決策が見つからないところです。宮崎県教育委員会では、免許を保持しているが、1回も教員になったことのない方の掘り起こし等を行い、教員不足に対応しようと取り組んでいます。長期的な見方になりますが、高校生を対象に教員の魅力を語るような会を進めていく必要があるという意見や働き方改革によって職場自体の魅力を高めていく必要があるという意見がでました。</p> <p>次に、「(2) 委員報告」ですが、8月1日から8月2日にかけて行われた「令和6年度九州地区市町村教育委員会連合会 総会」について、松尾代表教育委員より報告をお願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>資料は3ページになります。8月1日から2日にかけて、長崎県佐世保市で開催されました。</p> <p>1日目は、総会があり、事業報告や決算報告、監査報告、令和6年度事業計画案と予算案について発議が行われました。来年は、長崎県大村市で研究大会が開催されるとのことです。また、佐世保市教育委員会 文化財課職員による「特別史跡福井洞窟」についての講演がありました。非常に思いの詰まった講演でした。</p> <p>2日目は、視察研修があり、海上自衛隊佐世保資料館と旧佐世保鎮守府防空指揮所跡の見学をしました。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、「(3) 教育局長報告」です。「令和6年度全国市町村教育委員会連合会 事務局長会議」について、報告をお願いします。</p>

森屋教育局長	<p>7月25日から26日にかけて、愛媛県今治市で開催された「令和6年度全国市町村教育委員会連合会事務局長会議」に出席しました。全国30以上の自治体から参加があり、不登校対策の取組と各自治体の特色ある取組について、意見交換をしました。</p> <p>不登校対策について発表する機会があり、校内教育支援教室やまなびバ、現在開校に向けて準備している学びの多様化学校についての取組について説明しました。</p> <p>所感になりますが、全国どこの自治体も不登校対策に課題を抱えています。一方、発表された事例を聞くと宮崎市とそれほど変わらない取組を地道にされていました。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、「(4)各課行事報告」です。このうち、「①企画総務課」の行事から、8月3日から8月17日にかけて行われた「市制100周年記念宮崎市グローバルチャレンジ支援事業 中学生の海外派遣」について、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>8月3日から17日までのシンガポールでの研修がありました。派遣生徒10名、事故や怪我なく、無事に帰ってきました。</p> <p>日中は語学学校にて、毎日80分3コマの授業のほか、校外での施設見学や体験をしました。</p> <p>学校の授業は、英語力に応じて分けられたクラスで行われました。本市の生徒は3つのクラスに分かれ、語学学校が独自に準備したレベルごとの教科書や教材をもとに、ロシアや中国の生徒、日本の他県からの生徒とともにオールイングリッシュによる授業を受けました。英文読解や動画による学習など、インプット中心の内容もありましたが、多くは自分たちで調べたことや考えたことをプレゼンテーション等でまとめ、発表するものや意見を伝え合うアウトプット中心の内容が多かったようです。</p> <p>また、校外での活動においては、現地のガイドによるシンガポールの歴史や文化などの説明を英語で聞いたり、適宜取り入れられた質問に答えたりしながら体験をとおして見識を深めたようです。</p> <p>このように、語学学校にて英語力の向上を目的に学習できたこと、そして校外において多民族国家であるシンガポールの歴史や文化等に触れることができたことを考えると、本事業の目的である「語学力の向上」や「国際感覚の醸成」は達成できたのではないかと考えています。</p> <p>また、寮生活をしてもらいましたが、寮に戻ると、夜間のアクティビティが計画されており、その日の学びや体験について英語で記録しながら振り返る時間や現地から保護者に英語で葉書を書く時間などが設けられるなど、毎日充実した時間を過ごしました。アクティビティの時間には、日中の学習で分からなかった英語について、引率をした指導主事や英語科の教員に聞く姿も見られ、自分たちの困りごとをその日のうちに解決しようという姿勢が見られました。</p>

	<p>研修の最終日に、生徒にとったアンケートによると、現地に滞在した2週間の期間について、「ちょうどよい」と回答した生徒が5名、「短い」と回答した生徒が5名いました。</p> <p>また、英語を話すことについて、「いつぐらいから自分の思いや考えを英語で伝えられるようになったか」と聞いた質問には、「6日目から10日目の間」と回答した生徒が5名、「11日目から14日目の間」と回答した生徒が2名であり、滞在期間の14日間は概ね適切であったと考えています。</p> <p>本日13時30分から10名の生徒が集まり、第1回事後研修会を教育情報研修センターにて実施しています。今後は、10月26日に、市制100周年記念式典にて、全体報告を行う予定です。また、11月16日に第2回事後研修会を行い、11月23日の市制100周年記念イベントにおいて、宮崎駅前の特設ステージにて、報告を行う予定です。</p> <p>派遣者が今後どのような進路を進んでいくのか、追跡アンケート等もしていきたいと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も7月27日の出発式に行き、英語で決意などをプレゼンテーションする場面に立ち会いました。帰国した生徒は、顔つきや雰囲気が変わり、2週間の外国でのアカデミックな経験は、非常に教育効果があると思いました。様々な子ども達が能力を発揮できる機会を準備していきたいと感じました。</p> <p>帰国した生徒に「もう1回行きたいか」と質問をしたところ、全員が「行きたい」と手を挙げました。</p> <p>これまでの行事報告に対する質問や、各行事に参加された委員でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
高峰教育委員	<p>私も農家の方や障がいのある方など、様々な方を海外にお連れすることがあります。一概に言えるのは、「旅は人を成長させる」ということです。新しく開ける世界があると思いますので、様々な方向性で海外と交流する機会があると良いと思います。</p>
黒木教育長	<p>他に、意見等はありませんか。</p>
小林教育委員	<p>「令和6年度 宮崎県市町村教育長連絡協議会研修会」に関する報告についてです。宮崎大学教育学部が高校生へ教員の魅力を伝える「教師未来セミナー」を年4回ほど行っています。対面で行っていますが、遠方の方はオンラインで参加します。</p> <p>教育長の話にあったとおり、学校の先生の仕事に対する認識が曲がっているような状況を感じています。ブラックであるということが様々な報道で出され、学生の認識が少し現実と違うと感じます。</p> <p>実際の学校の先生を呼び、研修やセミナー、大学教員とのコラボレーションで教員の魅力を伝える場をもっと作れないか考えています。進路を考</p>

	<p>え始める高校生向けのアクションは、今以上に必要になるのではないかと 思います。宮崎県教育委員会や教育機関との連携が一層重要であると考えて います。</p>
黒木教育長	<p>それでは、他にないようでしたら、「4 議事」に入ります。4 ページ をご覧ください。本日、議案が4件です。まず、議案第35号「令和5年 度一般会計歳入歳出決算について」、事務局から説明をお願いします。</p>
森屋教育局長	<p>議案第35号別紙をご覧ください。</p> <p>まず、歳入の総額を説明します。予算現額が14億4,574万6千円 に対して、調定額が13億7,058万1,936円、収入済額が12億 2,279万6,856円、現段階での収入未済額が1億4,778万5, 080円です。収入未済額の内訳の主なものを説明します。</p> <p>まず、「児童クラブ事業利用者負担金」の現年度分と滞納繰越分です。 令和5年度と令和4年度以前の滞納分になります。55款国庫支出金の収 入未済額は、1億4,571万840円です。こちらは、令和5年度に交 付決定のあった「学校施設環境改善交付金」を令和6年度に繰り越してい ます。現段階では国からの補助金が入ってきていません。</p> <p>続いて、3ページをご覧ください。歳出です。20款民生費については、 予算現額が8億4,367万6千円、支出済額が7億7,075万1,2 85円、不用額は7,292万4,715円です。55款教育費について は、予算現額が101億8,933万4,894円、支出済額が86億6, 440万9,100円です。このうち、翌年度繰越額について説明します。 10項教育総務費の繰越額、3,664万1千円については、備考欄に記 載している「学校ICT環境整備促進事業」及び「中学校無線アクセスポ イント追加設置事業」を翌年度へ繰り越すものです。</p> <p>次に、15項小学校費の繰越額、4億8,176万7,880円につい ては、主に国庫補助の交付決定に伴い、「小学校高圧受変電設備更新事業」 など、計6事業を翌年度へ繰り越すものです。</p> <p>次に、20項中学校費の繰越額、4億32万2千円についても、「中学 校トイレ洋式化推進事業」などの4事業について国の国庫補助交付決定に 伴いまして翌年度へ繰り越すものです。</p> <p>次に、35項保健体育費の繰越額、2億1,221万4千円については、 国庫補助の交付決定に伴い、「学校給食施設設備維持管理事業」を翌年度 へ繰り越すものです。</p> <p>次に、60款災害復旧費については、予算現額が5,880万円、支出 済額が3,369万3,452円、不用額が2,510万6,548円 です。こちらは、令和4年度の台風14号の被害を受けた赤江小学校の屋内 運動場の復旧事業費を令和4年度から令和5年度へ繰越し、実施した事業 です。</p> <p>続いて、不用額について説明します。</p> <p>まず、20款民生費については、委託料などの執行残によるものです。</p>

	<p>次に、55款教育費、10項教育総務費については、会計年度任用職員の派遣・配置実績が見込みよりも少なかったことによる報酬の執行残などです。15項小学校費、20項中学校費については、施設整備等に係る工事請負費の入札・執行残などです。30項社会教育費については、埋蔵文化財確認調査の実績による執行残や、補助対象発掘調査の報告書刊行の入札残などです。35項保健体育費については、給食室厨房機器の備品購入による入札残や、給食施設光熱水費の実績による執行残などです。</p> <p>最後に、60款災害復旧費、20項その他災害復旧費の不用額については、台風被害復旧工事の実績による執行残となっています。</p> <p>以上、教育委員会全体の歳出予算の執行率ですが、次年度へ繰越す分を含めて約95.6%となっています。</p> <p>以上が教育委員会の令和5年度決算の概要の説明です。</p> <p>続いて、別冊の「主要施策の成果等説明書」について、各課長より説明します。</p>
河野企画総務課長	<p>それでは、議案第35号別冊をご覧ください。</p> <p>企画総務課の主な事業の決算について説明します。</p> <p>まず、「善行児童生徒表彰事業」、34万1千円です。この事業は、他の児童生徒の模範となる善行者を表彰するもので、宮崎市教育振興基金を活用して実施しています。令和5年度は小中学校あわせて個人115人と5団体を表彰しています。</p> <p>次に、「学校林売払収益金活用事業」980万7千円です。学校林の売払いによる収益金を活用し、生目小学校の校旗購入、七野小学校の記念碑移設工事、練習用和太鼓購入、穆佐小学校の駐車場舗装工事、田野中学校のプール改修工事、テント購入などを行いました。</p> <p>次に、「公立夜間中学設置準備事業」4,955万6千円です。令和6年4月の夜間中学の開校に向けた整備を実施しており、企画総務課では、施設改修に係る実施設計・工事のほか、学校用備品消耗品の購入などを行っています。なお、一番下に、担当課ごとの金額を記載しています。企画総務課の令和4年度からの繰越し事業分274万7,800円については、施設改修工事に係る実施設計を令和5年度へ繰越したものです。</p> <p>次に、「小学校管理運営費」6億9,790万円です。各小学校の消耗品費や備品購入費、事務機器のリース料、光熱水費のほか、学校環境の維持にかかる委託料、手数料など管理運営に要した経費を支出しています。</p> <p>次に、「宮崎市立古城小学校振興基金活用事業」63万4千円です。古城小学校振興基金を活用し、全国初の女性小学校長に就任した鳥原ツル氏を顕彰するとともに、古城小学校の児童の学習環境の充実を図りました。</p> <p>次に、「小学校感染症対策事業（R4国補正）」2,303万4千円です。国の補助金や交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えつつ学校教育活動を継続できるようにするため、網戸、サーキュレータ等の換気対策用品を購入しました。</p>

	<p>次に、「小学校教育教材用具等購入事業」7,132万2千円です。学習指導要領に基づいた教育課程を実施するために必要な教材などを整備しました。</p> <p>次に、「小学校理科教育等設備器具購入事業」390万2千円です。小学校で必要とする理科の備品の整備と更新を行い、理科教育環境の充実を図りました。</p> <p>次に、「中学校管理運営費」3億5,971万6千円です。内容は小学校と同様です。</p> <p>次に、「中学校感染症対策事業（R4国補正）」1,019万円です。内容は小学校と同様です。</p> <p>次に、「中学校教育教材用具等購入事業」3,407万2千円です。内容は小学校と同様です。</p> <p>最後に、「中学校理科教育等設備器具購入事業」286万8千円です。内容は小学校と同様です。</p>
齋藤学校施設課長	<p>学校施設課の主な事業について説明をします。</p> <p>「学校施設長寿命化計画改定事業」949万1千円です。平成31年3月に策定し、令和5年3月に中間見直しを行った学校施設長寿命化計画の次への改定に向け、校舎の構造躯体健全度調査を実施したものです。</p> <p>次に、「小学校施設整備事業」2億9,178万3千円です。老朽化・劣化した施設の随時対応として建築物や機器等の改修を行うことで、施設の機能維持を図ったものです。令和5年度においては、国庫補助金である防衛省再編関連訓練移転等交付金を活用し、児童の教育環境の安全確保を図るため、那珂小学校屋内運動場の改築工事に併せて旧屋内運動場跡地にフェンス整備を実施しています。</p> <p>次に、「小学校屋内運動場大規模改造事業」1億1,059万2千円です。令和5年度については、国からの交付金「学校施設環境改善交付」とエコクリーンプラザみやぎきの周辺地域の振興事業に充てる「宮崎市一般廃棄物処理施設維持管理等基金」を活用し、倉岡小学校の屋内運動場の大規模改造工事を行っています。</p> <p>次に「小学校高圧受変電設備更新事業」3,143万2千円です。老朽化した高圧受変電設備更新のための実施設計及び更新工事を行っており、古城小学校については、設備の更新に必要な部品調達に時間がかかり、令和5年度内での事業完了が困難であったため、工事費の一部を令和6年度に繰越しています。</p> <p>次に、「小学校空気調和設備更新事業」1,090万5千円と、令和4年度から5年度に繰越を行っている「小学校空気調和設備更新事業（R4国2次補正）」2億7,868万6千円です。いずれについても児童等にとって良好な教育環境の維持を図るため、全館管理方式の空調設備を個別空調へと切り替え、また、耐用年数が超過した空調設備の更新を進める事業となっており、文部科学省の学校施設環境改善交付金に併せて、令和5</p>

	<p>年度については、広瀬北小学校の設計委託に対し、防衛省の防衛施設周辺対策事業費補助金を活用を行いました。</p> <p>次に、「小学校トイレ洋式化推進事業」 5, 915万4千円です。和便器から洋便器への改修工事を行っていますが、5, 096万5千円を令和6年度に繰越し、引き続きトイレの洋式化を進めます。</p> <p>次に、「小学校プレハブ教室借上事業」 6, 380万1千円です。教室が不足する学校の仮設校舎を借り上げるものであり、宮崎南小学校については、新たに仮設校舎の整備をし、令和6年3月から借り上げを行っています。</p> <p>次に、「小学校空気調和設備整備事業」 2, 445万7千円です。理科室に空調設備を整備するための実施設計を行ったもので、令和6年度に空調設備の整備を進めています。</p> <p>次に、「那珂小学校屋内運動場改築事業」 3億8, 135万7千円です。国からの交付金を活用し、令和4年度から令和5年度の継続事業としての屋内運動場の改修工事等を行ったところです。</p> <p>次に、「小学校トイレ改修事業(R4国2次補正)」 9, 806万1千円です。令和4年度からの繰越事業となっており、国からの交付金を活用し、老朽化した学校トイレの便器や配管等の全面的な改修工事を行いました。</p> <p>続いて、中学校費については、ただいま説明しました小学校費と同様ですので、決算額のみ説明とします。</p> <p>「中学校空気調和設備更新事業」 1, 622万6千円、「中学校空気調和設備更新事業(R4国2次補正)」 1億3, 369万9千円、「中学校トイレ洋式化推進事業」 1, 802万9千円です。「中学校トイレ洋式化推進事業」については、2, 681万8千円を令和6年度に繰越を行い、引き続きトイレの洋式化を進めています。</p> <p>次に、「中学校空気調和設備整備事業」 1, 555万5千円です。この事業も小学校と同様に、理科室に空調設備を整備します。</p> <p>次に、「中学校トイレ改修事業(R4国2次補正)」 5, 310万5千円です。</p> <p>最後に、災害復旧費です。「教育関連施設災害補助復旧事業」 3, 369万4千円です。令和4年9月の台風14号により被害を受けた赤江小学校の屋内運動場について、令和4年度からの繰越事業として、復旧工事を行いました。</p>
小川学校教育課長	<p>学校教育課の主な事業について説明をします。</p> <p>「小中学校スクールカウンセリング等事業」 971万1千円です。小中学校のいじめや不登校に関する児童・生徒および保護者や教職員への相談ニーズに対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによるカウンセリングを行うとともに、小学校及び中学校、合計25校にスクールアシスタントを配置しました。</p> <p>次に、「部活動指導員配置事業」 780万6千円です。外部の専門家の</p>

指導により部活動の質の向上や教員の負担軽減を図るため、中学校19校に対し、25人の部活動指導員を派遣しました。

次に、「非常勤講師派遣事業」6,182万1千円です。児童・生徒に応じたきめ細やかな学習指導の充実を図るため、非常勤講師を配置し、少人数指導やチーム・ティーチング、小学校の一部教科担任制、複式授業の緩和等に取り組みました。

次に、「特別支援教育学び総合支援事業」1億3,555万円です。特別支援学級における授業や、発達障がいのある児童・生徒の学習、下肢等に障がいがある児童生徒に対して教育的支援を行うため、「スクールサポーター」「生活・学習アシスタント」「授業スタッフ」「コーディネーターサポートスタッフ」の支援員を派遣しました。

次に、「スクール・サポート・スタッフ配置事業」3,896万6千円でございます。教員の事務負担の軽減を図るため、授業準備や採点業務の補助、消毒などの感染症対策に従事するスクール・サポート・スタッフを全小中学校に配置しました。

次に、「小中学校医療的ケア児支援事業」532万4千円です。学校で医療的ケアが必要な児童・生徒を支援するため、宮崎市小中学校医療的ケア児支援運営協議会を設置し、支援体制を構築したほか、訪問看護ステーションより看護師を派遣し、対象児童へ医療的ケアを行いました。

次に、「不登校児童生徒学習支援体制整備事業」1,720万5千円です。学校の別室に登校している児童・生徒の支援を行うため、校内教育支援指導員を配置するほか、不登校支援のあり方協議会を設置し、実態の把握や分析を行いました。

次に、「地域部活動環境整備事業」286万7千円です。休日における部活動の段階的な地域移行を円滑に行うため、学校と地域を連携するコーディネーターを配置するとともに、協議会を設置し検討を行いました。

次に、「教育支援教室サテライト校新設事業」129万7千円です。不登校児童・生徒の支援の機会を増やすため、教育支援教室のサテライト校を、宮崎市青少年プラザと宮崎市大淀川学習館の計2か所に設置しました。

次に、「『未来を拓く』キャリア教育推進事業」246万2千円です。本事業では、9年間を見通したキャリア教育を推進するため、各中学校の代表者によるみやざき未来発表会を実施したほか、教職員を対象にキャリア教育推進研究会を実施しました。

次に、「小学校教育振興就学援助事業」1億1,782万8千円、「中学校教育振興就学援助事業」1億5,874万円です。経済的理由によって就学困難な児童・生徒や特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学用品費等の支給を行いました。

最後に、「小学校教師用教科書指導書改訂事業」2,716万4千円です。小学校は、4年に一度の教科書及び指導書の改訂を行い、新しく採択

<p>栗原教育情報研修センター所長</p>	<p>した教科書・指導書の一部を前倒しして購入しました。</p> <p>教育情報研修センターの主な事業について説明します。</p> <p>「教職員研修運営事業」172万3千円です。教職員の資質向上のため、49講座65回の研修を実施し、延べ3,316名の教職員が受講しました。また、教職員の指導力向上のため、研究論文の募集を行い、優秀作品の表彰を行いました。</p> <p>次に、「情報教育推進事業」1億2,773万7千円です。ICT支援員を各学校へ派遣し、ICTを活用した学習の支援や教職員への授業支援などを行いました。</p> <p>次に、「学校ICT環境整備促進事業」6億1,591万5千円です。ICT環境の安定稼働に向けた維持管理を行ったほか、小学校における35人学級による学級増に対応するためタブレット端末充電保管庫、大型提示装置及び実物投影機の整備を行いました。また、宮崎南小学校における無線アクセスポイント追加について、学校との調整に時間を要したことから、令和6年度への繰越を行いました。</p> <p>次に、「GIGAスクール推進事業」9,136万円です。宮崎市ならではの「未来の教室」の実現に向けて、AI型ドリル教材の導入により、授業や家庭学習における学習内容の習熟の機会の充実を図りました。また、AI型ドリル教材をより効果的に活用するため、授業改善に向けた自由進度学習の研究に取り組みました。</p> <p>次に、「デジタル採点システムモデル校導入事業」11万円です。テスト採点業務の効率化や時間外勤務の改善につなげるため、デジタル採点システムを中学校のモデル校5校に導入し、運用手順の確立と削減時間の効果検証を実施しました。</p> <p>次に、「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金返還金」6,581万円です。令和元年度実施「学校ICT環境整備促進事業」の一部費用で活用した文部科学省の「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」について、補助対象に該当しない後年度期間分のライセンス費用を補助対象経費に含めていたことから、補助金返還に要する額、6,581万円を返還しました。</p> <p>次に、「小中学校外国語教育推進事業」1,996万6千円です。外国語指導助手(ALT)を25の中学校区及びその校区内の小学校に派遣し、小学5年生から中学3年生までの外国語科において、ティーム・ティーチングを行いました。このほかALT人件費については、1億271万4,973円を人事課にて執行しています。</p>
<p>坂本生涯学習課長</p>	<p>生涯学習課の主な事業について説明します。</p> <p>「児童クラブ運営事業」7億3,365万円、「きよたけ児童クラブ施設指定管理料」1,718万2千円です。小学校の余裕教室等を利用した児童クラブを60箇所を開設しました。令和5年度児童クラブ利用状況については、延べ70万6,906人の利用人数がありました。</p>

	<p>次に、「児童クラブ施設整備事業」1, 239万8千円です。3つの校外の民間施設の活用により、87人分の定員を増やしました。</p> <p>次に、「放課後子ども教室推進事業」1, 434万9千円です。放課後に学校の体育館等の施設や交流センター等を活用しながら、子ども達の安全・安心な居場所を設け、子ども達の健全育成のための環境づくりを推進しました。令和5年度は、23個所で実施し、延べ3万8, 628人の小学生等の参加がありました。</p> <p>次に、「子ども電子図書館開設事業」253万2千円です。令和5年度の新規事業です。子ども達の読書活動を推進するため、電子図書館サービスを開設しました。令和5年度の閲覧件数は、76万38件であり、今後とも適宜蔵書の充実に努めながら利用促進を図ります。</p> <p>次に、「青少年非行防止・育成事業」1, 196万8千円、「青少年育成センター管理費」150万円です。青少年育成センターの維持管理のほか、センターを拠点として、青少年の健全育成を図るため、青少年指導委員の方々にご協力をいただきながら、街頭指導活動、相談活動、啓発活動等の充実に努めます。</p> <p>次に、「科学技術館指定管理料」1億5, 227万3千円、「大淀川学習館指定管理料」8, 588万6千円です。宮崎科学技術館では、常設展示や科学実験、工作教室、プラネタリウムでの星空コンサートや読み聞かせ等の事業を実施しています。また、大淀川学習館では、常設及び生体展示において河川環境に対する意識の啓発や生き物とのふれあいを通して、その生態や生息環境についての理解を深める企画展を実施しました。</p> <p>次に、「科学技術館施設環境整備事業」8, 963万3千円です。空調設備更新工事の実施設計や屋上防水及び屋根改修工事等を実施しました。</p> <p>最後に、「大淀川学習館施設環境整備事業」964万8千円です。大淀川学習館の水槽ろ過循環設備更新工事の実施設計等を実施しました。</p>
弓削保健給食課長	<p>保健給食課の主な事業について説明します。</p> <p>「学校保健安全事業」1億2, 114万4千円です。学校保健安全法に基づき児童生徒の健康診断や学校環境衛生検査を実施しました。</p> <p>次に、「就学時健康診断事業」757万7千円、「教職員健康診断事業」2, 357万円です。学校保健安全法に基づく健康診断事業です。就学時健康診断については、10月から11月に翌年度就学予定の幼稚園児に内科等の検診や知能検査を実施しています。教職員健康診断については、6月から11月に総合検診を実施しています。ストレスチェックについては、5月から7月に1, 998人が実施しています。</p> <p>次に、「思春期健康教育推進事業」163万7千円です。学校へ医師・保健師・助産師を派遣し、命の大切さや性に対する正しい知識等についての講演を行い、延べ75校に派遣しています。</p> <p>次に、「子どものメディアリテラシー育成事業」99万6千円です。情報が氾濫する中であっても、子ども達が正しい情報を見極める力、他人と</p>

	<p>自分を大切にするモラルを身に付けるため、有識者等を学校に派遣し、延べ30校においてメディアリテラシーの教育を行っています。</p> <p>次に、「学校フッ化物応用事業」311万1千円です。児童生徒のむし歯予防を図るため、小学校43校、中学校20校の合計63校で実施しました。</p> <p>次に、「AED配置事業」485万4千円です。市内のすべての小中学校に設置しているAEDの更新及びリース料及びパッド等の更新の経費です。</p> <p>次に、「学校給食管理運営費」1億9,002万5千円、「学校給食センター管理運営費」2億6,404万5千円です。単独調理場（45箇所）及び共同調理場（5箇所）の管理運営等の経費で、廃棄物の収集運搬や給食室の清掃、害虫防除等の業務委託料、並びに光熱水費や燃料費等です。</p> <p>次に、「学校給食食材加工等業務委託事業」6億4,535万2千円です。単独調理場や共同調理場の食材加工等の民間委託に係る経費です。令和5年度は、入札の結果、不落となった宮崎南小学校を直営化しています。令和5年度末の民間委託の状況としては、単独調理場は、小学校30校、中学校10校の合計40校、共同調理場は、3箇所を民間委託しています。</p> <p>次に、「学校給食施設設備維持管理事業」2億6,703万4千円です。中央学校給食センターの外壁・屋根改修工事や単独調理場の学校給食室棟や給食室渡り廊下の屋根改修等の大規模な工事、並びに老朽化した設備の更新を行いました。</p> <p>次に、「単独調理場空調設備整備事業」6,481万です。単独調理場全45校に設置した空調設備のリース料を計上し、衛生管理と調理員の労働環境の改善を図っています。</p> <p>次に、「食育推進事業」189万7千円です。「親子料理教室」「食育実践事業」を実施し、それらに係る必要経費の配分を行いました。また、学校から排出される廃食用油の売り払い金の一部、110万1,979円を県内産の食材購入に充てるため、PTA等へ交付しました。</p> <p>最後に、「学校給食施設空調設備整備事業」5,125万2千円です。老朽化した木花小学校と大塚小学校の空調設備について、更新工事を行いました。</p>
町田文化財課長	<p>文化財課の主な事業について説明します。</p> <p>「文化財保護調査管理費」2,574万9千円です。指定文化財の管理のため、草刈や樹木伐採などを、地元保存会や民間事業者等への委託などにより行いました。</p> <p>次に、5つの国指定史跡の整備事業をまとめて説明します。これらの事業は、それぞれの整備計画に基づき、国と県の補助を受けて計画的に事業を進めているところです。</p> <p>まず、「生目古墳群史跡公園整備事業」515万6千円、「蓮ヶ池横穴群保存整備事業」555万7千円です。生目古墳群については、21号墳に</p>

	<p>ガラス板を使ったイメージ復元型の説明版の設置や22号墳の樹木伐採を行い、蓮ヶ池横穴群については昨年度から実施していた51号横穴の保存工事が終了しました。</p> <p>次に、「本野原遺跡保存整備事業」1,788万円、「佐土原城跡保存整備事業」813万7千円、「穆佐城跡保存整備事業」1,385万円です。本野原遺跡については、昨年度に引き続き、遺跡内の園路や排水に係る工事を行いました。佐土原城跡については、平成30年の台風24号による倒木や土砂崩落等の災害復旧として、見学道でもある大手道の安全対策工事や倒木の処分を行いました。また、穆佐城跡については、平成30年の台風以来、山城の区域外にも流水による被害がしばしば発生しているため、根本的な解決策を講じるための地形測量などを主に行いました。</p> <p>次に、「受託発掘調査事業」583万2千円です。この事業は、開発等により消滅する遺跡を記録として保存するため、発掘調査とその成果をまとめた報告書の作成を行うものです。昨年度は、県営の畑地帯総合整備事業に伴う橋上遺跡や宮崎大学施設増設に伴う平畑遺跡の発掘調査などを行いました。</p> <p>次に、「郷土の歴史PR事業」195万2千円です。出前授業や先生方への研修など教育現場を支援する様々な取組や日本遺産である蓮ヶ池横穴群について、住吉南小学校の児童たちが普及活動や管理の補助をしている事例を紹介するイベントなどを行いました。</p> <p>最後に、「歴史資料館改修事業」5,206万3千円です。文化財課が所管する市内歴史施設において、経年劣化により様々な改修が必要となっています。そのため、各施設の状況に応じて、空調や照明、外装や床など見学者の安全に配慮した工事を行いました。</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました、議案第35号について、質問はありませんか。</p>
小林教育委員	<p>一点目は、トイレの洋式化率についてです。設置率等について教えてください。加えて、空調設備についても、学校によって随分差があると感じています。今後、整備が必要な学級の割合も教えてください。</p> <p>二点目は、指導書についてです。宮崎市において、先生のデジタル教科書の導入についての検討はされているのか教えてください。</p> <p>三点目は、ICT環境整備や無線アクセスポイントの整備についてです。体育館でのニーズがでてきていると考えています。具体的には、先日訪問した学校では、生徒総会が体育館で行われ、子ども達はタブレットを持参していました。今後のニーズとして、体育館で全校生徒が一斉にタブレットを用いた議論や資料の閲覧があるのではないかと思います。また、体育館に無線アクセスポイントの整備を行うことによって、避難所等では、防災の観点としても活用できるのではないかという議論もあります。他県でも先進事例が出てきています。宮崎市は、体育館への設置についての検討もされているのでしょうか。</p>

齋藤学校施設課長	<p>トイレ洋式化については、全国平均まで達しておらず、昨年度から取組を加速化しています。これまで約1～2%の進捗率だったところ、令和5年度は5%近くの進捗率で整備をしています。令和5年度の設置率は、全体の約47%ぐらいですが、令和6年度末までには、約52%の設置率になるよう計画を進めています。</p> <p>空調設備については、音楽教室を一番に整備しました。次の段階として、理科教室の要望があり、今年度は工事発注等をかけて、全館空調の14校を除く、58校に整備を進めています。来年以降も、引き続き特別教室や少人数教室、特別支援等の教室等について整備していこうと考えています。未だ400以上の教室に設置されておらず、一層進めていかなければならない状況です。現在、年間58教室のペースで整備を進めていますが、約8年かかる見込みのため、補助金等も活用しながら、スピード感を持って整備していかなければならないと考えています。</p>
小川学校教育課長	<p>教師用の指導書についてです。非常に高額な状況があり、現時点では学年1セットで使っていたり、全小学校の先生には、赤刷りといわれる本だけを配置をしたりしている状況です。</p> <p>ただし、英語科に関しては、本年度の途中で、デジタル教科書をすべて購入をしています。先生達の要望等も加味しながら、今後検討していきたいと考えています。</p>
栗原教育情報研修センター所長	<p>体育館の無線アクセスポイントについて、1校のみ体育館に無線アクセスポイントがついています。しかし、無線アクセスポイントに接続できる人数の推奨が40台から50台であり、児童生徒数には足りていない状況です。体育館についても拡充していかなければならないと考えていますが、現状教室のアクセスポイントが2教室のに1つのため、1教室に1つになるよう、教室の設置から今後検討していきたいです。</p>
小林教育委員	<p>多くの先生方からデジタル教科書の要望があると認識しています。体育館に加えて、校庭等、屋外での活動もあります。先進地の事例を交えての検討をお願いします。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いただいた意見等は、新規事業等に活かし、各課で検討をお願いします。他に、質問等はありませんか。</p>
高峰教育委員	<p>障がい等がある子ども達が通う学校について、バリアフリー化はどのくらい進んでいますか。</p>
小川学校教育課長	<p>新しく入学する児童がいる学校に関して、必要性を踏まえて、工事等を行っています。</p>
松尾代表教育委員	<p>学力向上にあたり、様々な事業を行っていますが、その効果はどのような形で評価されているのでしょうか。要するに、学力にどのように作用してきたかという検証はされているのでしょうか。</p> <p>また、保健給食課の「思春期健康教育推進事業」「子どものメディアリテラシー育成事業」について、利用されていない学校があります。理由が分</p>

	<p>かれば教えてください。</p>
小川学校教育課長	<p>「非常勤講師派遣事業」では、きめ細やかな学習指導の充実を図るために、様々な少人数指導、ティームティーチング等への活用がされています。今後は、どれぐらいの効果があつたのか、示していく必要があるのではないかと考えております。しかし、多岐にわたる活用のため、1つ1つの効果を明らかにするのは難しいところです。宮崎市全体として、学力向上に向けて、一層検討をしていかなければならないと考えています。</p>
弓削保健給食課長	<p>「思春期健康教育推進事業」については、全学校に周知をしています。助産師に関するものであれば、令和3年度が51校、令和4年度は59校、令和5年度は61校という実績です。少しずつは増えてきていますが、希望しなかった理由については調査していません。積極的に周知を行っていききたいと思います。</p> <p>「子どものメディアリテラシー育成事業」については、令和5年度の新規事業です。こちらでも委託先と連携して、周知を図りたいと考えています。</p>
森屋教育局長	<p>補足です。宮崎市は、人工妊娠中絶率が非常に多いです。教育委員会としては、大きな課題感をもっています。子ども未来部と連携しながら考えていかないといけないと思っています。</p> <p>加えて、様々な事業を行い、予算を作っていく上では、数字も重要です。どのような効果があるのか、わかりやすく説明できるよう、新年度に向けて、予算を策定して行きたいと考えています。</p>
片山教育委員	<p>「小中学校医療的ケア児支援事業」についてです。</p> <p>まず、対象とされている子ども達は看護師が学校に来ることによって、学校に行けるようになったのか、またどのような学びを得られたのかについて、教えてください。</p> <p>また、令和6年度、令和7年度に人数が増えていくのでしょうか。</p>
小川学校教育課長	<p>現状、1日で2回程度支援をする形です。現時点では5校で、来年度以降は、新たに1校増える予定です。来年度も必要に応じて、配置していただけるように事業を展開していきたいと考えています。</p>
片山教育委員	<p>導尿が必要で学校に行けなかったのでしょうか。看護師がついたことで、学校にいけるようになったのですか。</p>
小川学校教育課長	<p>以前は保護者が行っていました、保護者が行かずに済む状況です。保護者にとっては、負担が軽減されたとの話を聞いています。</p>
片山教育委員	<p>訪問看護ステーションの場合、それぞれ自宅に来られている担当者がいると思います。その方が学校に来ているのでしょうか。別で派遣されているのでしょうか。</p>
森屋教育局長	<p>特定の看護ステーションに委託して、事業をしているため、必ずしも自宅で担当していた方と同一の方ではないと考えています。</p>
片山教育委員	<p>今後、宮崎市小中学校医療的ケア児支援運営協議会等で詰めていくことによって、より多くの子ども達が学校に行けるようになるのではないかと感じました。</p>

小川学校教育課長	結果的には、看護師が常駐している特別支援学校を選択される方が多いのが現状です。最終的には、保護者の判断で、通常の学校か特別支援学校を選択していただいています。
片山教育委員	保護者の都合になってくることもあると思います。子ども達が通常の学校に行く選択肢を選べると良いと感じています。
黒木教育長	他に質問がないようでしたら、議案第35号「令和5年度一般会計歳入歳出決算について」、ご承認いただけますでしょうか。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	ご承認ありがとうございます。 続いて、議案第36号「令和6年度一般会計補正予算案について」は、進行の都合上、議案の最後に審議をさせていただきます。 続いて、議案第37号「宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成するために、お諮りするものです。</p> <p>議案第37号別冊をご覧ください。今年度も書面で会議を行いました。教育委員の皆様、学識経験者として宮崎公立大学の野崎教授、宮崎市PTA協議会の二見会長にいただいた意見等を踏まえ、報告書を作成しています。</p> <p>この点検及び評価は、3つの項目に分けて取り組んでいます。</p> <p>1点目は、「教育委員会の活動に関すること」です。宮崎市教育委員会第5次活性化プランに基づく活動を整理しました。</p> <p>2点目は、「教育委員会が管理・執行する事務に関すること」です。定例教育委員会で審議した議案等の内容について整理しました。</p> <p>3点目、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関すること」です。教育長の指示のもと、事務局が事務事業を行っている内容について整理しました。整理の仕方としては、第二次宮崎市教育ビジョンに定めている主な施策について、点検及び評価を行いました。書面でいただいた意見については、各施策ごとに一部抜粋し、該当するページの下部に記しています。</p> <p>最後に、全体的な総合評価を記載しました。「(1)全体を通しての会議での意見」では、委員の皆様からいただいた全体を通しての意見を掲載しています。「施策の成果は数値だけではなく、プロセスも重要視して、記載の充実が図るとよい」「子ども達が学びたい、生きたいと思えるような学びの環境づくりにスピード感を持って対応してほしい」「次のビジョンを策定するにあたって、指標そのものの見直しが必要なのではないか、部局横断的な取り組みが必要なのではないか」「時代が変化していく中であ</p>

	<p>たって、子どもの意見をより反映していくための取組が必要なのではないか」「地域との連携強化や、教育活動のさらなる発展について、組織的に多面的な評価が必要」「長期的なビジョンの必要性や、市民とより連携を強化していく必要がある」との意見を掲載しました。</p> <p>「(2)まとめ」では、新たな取組として、宮崎県内初の公立夜間中学となる「宮崎市立ひなた中学校」の開校に向けた準備や教育支援教室の拡充、放課後児童クラブの取組を進めてきたこと等を挙げています。</p> <p>令和6年度は次期計画となる「第三次宮崎市教育ビジョン」の策定します。今後も引き続き、教育長・教育委員・事務局が一丸となり、未来の担い手となる子ども達へのより良い教育のため、教育行政の課題の解決に真摯に努めていくという形で記載しています。</p> <p>今後は、議会への送付と宮崎市のホームページで公表をしたいと考えています。合計で2回ほど報告書を見ていただき、ご意見やご質問などのやり取りを通して、本報告書を作成していますが、定例会にて追加の意見等ございましたらお願いします。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、議案第37号について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	質問がないようでしたら、議案第37号「宮崎市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について」、ご承認いただけますでしょうか。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	ご承認ありがとうございます。 続いて、議案第38号「令和6年度宮崎市立ひなた中学校10月入学者の入学式の期日について」、事務局から説明をお願いします。
小川学校教育課長	<p>宮崎市立学校管理規則第14条第1項において、「入学式は、4月12日までに行うものとし、期日は、教育委員会が定める」としています。令和5年7月定例教育委員会で承認をいただいた、ひなた中学校については、特例として、「令和6年度の入学式の期日については、第14条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める」としたところです。</p> <p>令和6年度4月のひなた中学校入学式の期日については、令和6年4月22日としましたが、令和6年度10月入学式の期日については、2学期始業日の10月16日にしたいと考えています。なお、10月入学については、現時点で3名の入学者を予定しています。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、議案第38号について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	質問がないようでしたら、議案第38号「令和6年度宮崎市立ひなた中学校10月入学者の入学式の期日について」、ご承認いただけますでしょうか。

教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>ご承認ありがとうございました。</p> <p>続いて、先ほどご説明をした議案第36号「令和5年度一般会計補正予算案について」に戻ります。議案第36号については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>また、本日、報告が3件ございます。そのうち、報告第20号「専決処分報告について」についても、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>それでは、ただいまより、非公開とします。</p>
黒木教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>続いて、報告第21号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
坂本生涯学習課長	<p>報告第21号別冊1をご覧ください。</p> <p>地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、市の出資比率が50%以上である公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況等について議会へ報告するものです。公益財団法人宮崎文化振興協会が市の公共施設の管理者として、管理を担う施設についての事業報告です。</p> <p>まず、公益財団法人宮崎文化振興協会の事務局経営戦略課の事業についてです。職員の資質向上のための内・外部研修を実施するほか、公益財団法人宮崎文化振興協会の機関誌「まなぶんか」の発行や「子どものための音楽会の開催」「1日子ども館長の実施」「ぶんしんきょうチャンネル」の配信などを通して文化振興に資する事業を実施しました。</p> <p>次に、公益財団法人宮崎文化振興協会が令和5年度に管理運営を行っている宮崎科学技術館、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、大淀川学習館、宮崎市民プラザの6つの施設の主な事業についてを説明します。</p> <p>まず、宮崎科学技術館の事業です。施設の維持や管理業務を実施するほか、常設展示や科学実験、工作教室、九州最大級直径27mのプラネタリウムを生かした事業などに取り組みました。特に令和5年度は、仮想世界やトリック疑似体験ができる「トリックプリントの世界」を常設し、来館者に印刷技術の最先端を味わってもらうことができ、多くの人々に来場いただきました。</p> <p>17ページ以降は、宮崎市歴史資料館3館の事業です。宮崎市生目の杜遊古館では、常設展示や企画展示、体験講座やイベントを通じた歴史文化振興・教育普及事業などを実施しています。また、宮崎市佐土原歴史資料館と宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館においても、貴重な資料及び各地域の特</p>

色や施設の特性を活かした企画展を実施しました。

28ページ以降は、大淀川学習館の事業です。展示事業については、例年人気の高い「カブトムシ・クワガタムシ展」や多数の企画展を開催し、幅広い世代の方に来場いただきました。また、学校対応事業や教室事業では、子ども達が自然環境の大切さを学ぶ機会を提供するため、小中学校や各種団体と連携した事業も実施しています。

37ページ以降は、宮崎市民プラザの事業です。「市民プラザ寄席」「市民プラザコンサート」などの文化芸術企画事業や若い世代へのアプローチとして各種事業を実施したところです。

続いて、各施設のこれまでの入館者数の推移です。令和5年度の宮崎科学技術館の入館者数は、13万4,359人で、前年度から1,426人の増です。宮崎市歴史資料館3館については、宮崎市生目の杜遊古館が2万7,912人、宮崎市佐土原歴史資料館が9,416人、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館が1万2,589人となっており、3館合計では4万9,917人、前年度から5,610人の増です。大淀川学習館については、入館者数は10万5,271人で、前年度より8,216人増です。宮崎市民プラザは、17万9,948人で、前年度より10万7,776人増です。令和4年8月1日から令和5年2月28日の間の空調設備とホール天井の改修工事の終了により、貸館を再開したことによる増加です。

45ページをご覧ください。決算書になります。まず、貸借対照表については、主要な財務諸表のひとつで、今年3月31日現在の公益財団法人宮崎文化振興協会の財務状況を示すものです。令和5年度の「資産合計(①)」の金額は、3億252万5,999円です。次に令和5年度の「負債合計(②)」の金額は、1億3,765万6,605円です。こちらの正味財産合計は、資産合計①から負債合計②を差し引いたもので、1億6,486万9,394円です。

46ページをご覧ください。正味財産増減計算書は、民間企業の損益計算書に相当するものです。ローマ数字Iの「一般正味財産経常増減の部」の「1. 経常増減の部」「(1) 経常収益」ですが、①から④までのうち、「②事業収益」に指定管理料や宮崎科学技術館の利用料金、コンサートなどの自主事業収益等を計上しています。令和5年度の経常収益計(A)ですが、6億2,006万5,695円で、前年度よりも3,936万8,924円増加しています。「(2) 経常費用」ですが、「①事業費」は、指定管理施設の管理運営や協会事業に係る経費になります。②管理費は公益財団法人文化振興協会の法人運営に係る経費です。「経常費用計(B)」ですが、6億443万9,424円で、前年度より2,570万1,745円増加しています。「経常収益計(A)」から「経常費用計(B)」を差し引いた「当期経常増減額」は、1,562万6,271円です。「2. 経常外増減の部」の「当期経常外増減額(C)」は0円、「法人税、住民税及び事業税(D)」は「71万5千円」です。当期一般正味財産増減額は、1,4

	<p>91万1,271円と黒字です。こちらに、年度初めの残高である「一般正味財産期首残高」の1億1,995万8,123円を加えた「一般正味財産期末残高(E)」は、1億3,486万9,394円です。この「一般正味財産期末残高(E)」に、ローマ数字Ⅱの「指定正味財産増減の部」の有価証券や定期預金である「指定正味財産期末残高(F)」の3千万円を加えた「正味財産期末残高」は、1億6,486万9,394円です。</p> <p>なお、これらの決算書については、令和6年6月7日に税理士を含む監事2名による監査を実施し、監査報告書として、適正な処理であることが報告されています。</p> <p>続いて、報告第21号別冊2をご覧ください。</p> <p>6ページ以降は、事務局経営戦略課の事業になります。7ページに記載のある様々な事業を効果的に実施していきます。</p> <p>宮崎科学技術館については、人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開を図るとともに、プラネタリウム事業やイベント事業を引き続き展開していきます。宮崎市歴史資料館3館、大淀川学習館、宮崎市民プラザについても記載のとおりです。</p> <p>続いて、36ページをご覧ください。令和6年度の収支予算書です。「一般正味財産増減の部」の「1. 経常増減の部」、「(1) 経常収益」の合計は、6億1,309万6千円で、令和5年度に比べ476万円の増となっています。主な収入といたしては、指定管理料収益及び「利用料金収益」です。次に、「(2) 経常費用」です。各施設の運営費等の「事業費」と「管理費」の合計が「経常費用計」であり、合計は、6億3,652万5千円です。</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第21号について、質問はありませんか。</p>
教育委員	<p>なし。</p>
黒木教育長	<p>ないようでしたら、続いて、報告第22号「8月8日に発生した日向灘を震源とする地震の被害状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
森屋教育局長	<p>8月8日に発生した日向灘を震源とする地震の被害状況について、一括して説明します。報告第22号別紙1ページをご覧ください。</p> <p>2ページ目は、学校施設課で受けた施設等の被害状況です。3ページ目は、学校教育課や保健給食課で受けた教室や給食施設の状況です。学校休業中の災害だったため、児童生徒に影響はありませんでした。</p> <p>加えて、当日は児童クラブを運営しておりました。時間帯が17時前であったため、子ども達はお迎えを待っている状況でした。担当課において、各児童クラブと、今の在籍状況等の連絡を取り合いました。青島地域では一部避難した児童クラブもありました。</p> <p>生涯学習班からは、宮崎市市立図書館と科学技術館を掲載しています。宮崎市立図書館については、エアコンが動かなくなったところがありました。また、2階の書籍が並んでいる場所の上方にある排煙ガラスが破損</p>

	<p>しました。幸いなことに、地震発生時は排煙ガラスの下に人がいなかったため、怪我人はでませんでした。来館者に対する避難指示等も的確に行われ、大きな影響はありませんでした。8月10日まで、空調の復旧工事や割れたガラスの撤去等を行い、8月11日から通常とおり開館します。</p> <p>科学技術館については、エントランス入口のタイルが一部隆起してたり、土星の吊り下げワイヤーが外れたり等がありました。8月9日は休館をし、応急処置をした上で、8月10日から開館をしたいと考えています。</p> <p>保健給食班からは、高岡給食センターの被害について、文化財班については、佐土原歴史資料館や生目の杜遊古館、安井息軒旧宅等の被害を掲載しています。</p> <p>今回の被害を受けたものについては、災害関係の補正予算を行い、迅速に復旧を図っていきたいと考えています。また、直接的な被害ではありませんが、220号線において、落石による通行止めが発生し、宮崎交通の路線バスが止まっています。バスで通学していた子ども達の通学手段がない状況です。関係部局と連携をし、対応について検討していく可能性もあると考えています。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、報告第22号について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	<p>ないようでしたら、ここで質疑を終了します。</p> <p>次に、会次第「5 その他」に移ります。14ページをご覧ください。「国指定20周年記念本野原遺跡シンポジウム2024「集まれ縄文の広場に」」について、事務局から説明をお願いします。</p>
町田文化財課長	<p>田野町にある本野原遺跡は、国指定の史跡となって今年で20年目を迎えます。その節目の年を記念して、9月28日に、田野文化会館でシンポジウム「あつまれ！縄文の広場に」を開催します。</p> <p>イベントでは、古代スイーツ研究家で奈良女子大学の前川佳代先生に、「今よみがえる縄文の食～古代スイーツ研究家が紐解く本野原遺跡～」というテーマで講演をしていただき、その後、遺跡のある田野町の日本農業遺産連盟やまちづくり協議会、そして道本食品の方にもご参加いただき「昔と今の食」についてのパネルディスカッションを行います。</p> <p>また、このイベントにあわせて、9月9日から9月30日まで、同じく田野文化会館で「本野原遺跡パネル展」を開催します。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	その他、委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
小林教育委員	<p>8月1日に学校司書の研修会の講師として研修をしました。学校教育課の学校図書館アドバイザーに事前に情報提供いただきました。宮崎市は、非常に図書館教育に力を入れており、その成果が出ていると感じました。</p> <p>例えば、小学校では、今年度は学校司書の配置が100%であり、授業</p>

	<p>にも積極的に関わっている方もいます。小学校の蔵書点検の実施率が100%であり、蔵書点検がきちんとなされている様子が見られました。中学校では、学校司書ではなく、読書活動アシスタントの方が様々な工夫をして、全学校の蔵書点検を終わらせようと努力されていました。子ども達が何度も利用したいと感じる図書館にするために、図書を紹介するための講座を設けて、アシスタントの方が勉強し合い、各学校の環境をより高めていくという事例がなされているようです。</p> <p>改めて、宮崎市の小中学校の学校図書館に関する関心をもちました。学校に行った際には、そのような視点で学校を見ることもできると感じました。</p>
黒木教育長	他にないようでしたら、会次第「6 次回委員会について」、事務局から説明をお願いします。
教育委員	次回定例会は、令和6年9月24日（火）、16時00分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています。
黒木教育長	ただいま説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>明日から10月23日までの予定を説明します。</p> <p>8月22日は、「“Welcome to our FURUSATO” プレゼンテーションコンテスト」です。</p> <p>8月23日は、「「未来の教室」教育フォーラム」です。</p> <p>8月30日は、「宮崎市総合教育会議」を予定しています。</p> <p>9月24日は、「管理職と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月17日は、「地域・家庭と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月18日は、「若手教員と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月22日は、「中学生と教育委員会との意見交換会」です。</p> <p>10月23日は、10月の定例教育委員会の予定です。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	以上をもちまして、第8回定例会を終了します。